

創作と二次創作



20240130



エリー





# 目次

本文 .....	1
----------	---



## 本文

### ●創作の種類

創作にはおおきくわけて、2つのやり方がある。

1つは経験や童話などをベースに、置き換えるやり方。

「マリアのシンデレラ物語」「人魚姫オニキス」「魔女と王さま」は童話ベース。

「わたしのご主人さま」は、実話ベース。

もう1つは、テーマにそって、キャラクターを作って、シーンを決めていくやり方。

「竹林の家」はそうだ。

ベースなし。テーマなし。

ただ時系列に出来事を並べただけなのが、シナリオ「ララ」だ。

なぜなら、時系列で起きる出来事を見せたかったからだ。

実話や童話の書き換えは、二次創作的な要素が強い。

テーマからまったくオリジナルの話をゼロから生み出すほうが、より創造性は高くなる。

つまり、難しくなる。

### ●小説から脚本を作る場合

「原作を脚色する」とは、テーマにそって深掘りすることだ。

それなのに「原作を置き換えて二次創作」をされたら、たいがいの作者は切れる。

プロでもテーマに添って深掘りできない人はいる。

安易に置き換えて原作をめちゃくちゃにする。

ちゃんとテーマにそって深掘りできたら一流になれる。

目指すべきゴールが明瞭になってスッキリした。

### ●具体例

原作のテーマを理解して、脚本家が深掘りするなら、作者も読者も「おお！」となる。

でも深掘りするのは難しいから、無関係な要素を加えたりするわけよ。

「魔女と王さま」のオリジナルは、「ニニーが、塔から落ちて、地面すれすれでほうきにのり、空高く舞い上がった」というラルクのインジェアに合わせたキャラクター造形をしている。

「おちて、上がった」だけだから、なんのドラマもない。

だからといって「ニニーがバニラの上に落ちた」に変えられたら、主旨と違う。

もし、安易なステレオタイプの表現に逃げず、作者がやりたかった「舞い上がる＝しがらみを越えて、自由に生きる」という象徴を深掘りしてリライトしてくれたなら、感謝しただろう。

でも手垢のついた創作論で、安易な方向に書き換えられた。

そうしたらわかりやすいのはわかるよ。でも……。

読んだとき、違和感を感じた。

相手を上に見て、「これで読者が増えるなら仕方がない」と妥協した。

娘がいった通り、エリーはジャッジできず、安易に受け入れてしまった。

「書きたかったことを変えられて、作家としてのプライドはないのか！」と娘に切れられて、喧嘩した。

そもそも「ニニー」は「バナラやクミン」と「話したことがない」という設定が面白さなのだ。

そこを簡易に会話させて分かりやすくしたら、台無しだ。

ニニーはバナラの横を滑空してからかうが、個人として認識してない。王子でしかない。

でもバナラにとって、ニニーは個人だ。

非対称のままバナラがニニーに片思いをして、振られてもなお憧れて応援し続ける。

そこがおもしろさなんだから、会話させたらだめなのだ。

わかりやすさという意味では、たしかにリライト案はありだが、作者のエリーがやりたいことではない。

深掘りではなく、すり替えなのだ。

論文で、論拠を丁寧に積み上げるのが難しいように、

小説で、表現したいことに説得力を持たせるために、深掘りしてエピソードを積み上げるのは、めちゃくちゃしんどいのだ。

でもそのしんどさから逃げて、書きやすい表現をしても、新規性は生まれない。

深掘りを期待してリライトを依頼したのに、結果はすり替え。

でも「グリーンさまは無力」という部分は、語りで表現してくれた。努力もしてくれた。

しかし台詞で説明するだけなら、子どもにはわからない。映像で理解する深掘りを期待して話したのに、言ったまま書いただけなら、工夫といえない。

#### ●得られたもの

金を取るプロでも安易なすり替え表現がほとんど。

「深掘りして、よりよく」は、上位5%しかできない。

自分が上位5%に入れる原作を書けないなら、プロ中のプロが編集を担当することはない。

でたらめにされるだけだ。

20万払ってリライトしてもらって、「自力で書けるようになるしかない」と覚悟が決まった。

それまで、金さえ払えば、自分の考えをよりよくできると考えていた。

「自分の考えを、自分で深掘りして、よりよい表現を求めるしかない」と結論が出て、書き続ける覚悟が決まった。

成長をあきらめない決意をしたという意味で、大金を出してリライトしてもらってよかった。

同レベルの相手に、安い金で依頼しても、真意を汲み取り、よりよくしてくれることはない。

それができたら、一流のプロとして活躍してる。

趣味でも商業レベルのクオリティを目指し続ける。

そして自分で最終成果物の小説に仕上げる。

健康寿命との戦いだ。

---

創作と二次創作20240130

---

著 ELYE

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---